

社会科学学習指導案（6年〇組）

1 単元名 日本の歴史「明治の国づくりを進めた人々」

2 考察

(1) 教材観

① 学習内容：学習指導要領上の位置付け

- ・第6学年 2 内容(1)のク
- ・黒船の来航、明治維新、文明開化などについて調べ、廃藩置県や四民平等などの諸改革を行い、欧米の文化を取り入れつつ近代化を進めたことが分かる。

② 教材の価値

- ・本単元は700年間続いた武士による政治が終わりを迎え、近代国家になっていく日本の大きな転換期を扱う。黒船の来航をきっかけに、尊王、佐幕、攘夷、開国など日本の国の在り方について、それぞれの立場で真剣に考える人たちがぶつかり合うが、結果的に倒幕の動きが優勢となり、江戸幕府は滅亡し、明治政府が成立する。開国後、政府は外国に負けない強い国づくりを目指し、富国強兵政策を進めていく。そして、日本は政治や産業など様々な分野で外国の文化を取り入れながら近代化を果たしていくのである。
- ・黒船の来航やアメリカとの不平等条約など様々な出来事が当時の日本人々にどのような思いを持たせたのか、その結果日本にどのような変化が起きたのかなど歴史的事象がどのような影響を与えるのかを考えることができる教材であり、歴史的事象にかかわる人々の働きについても考えることができる教材である。すなわち、歴史的事象の意味を考えることができる教材であると考えられる。

③ 主な伸ばしたい資質・能力

- ・明治の国づくりに関わる人物の働きや諸改革に対する関心
- ・課題解決に向かって観点を持って調べていく力
- ・明治の国づくりに関わる人物が果たした役割や諸改革が社会に与えた影響などを考える力
- ・調べたことに基づいて考えたことを表現する力
- ・幕府による政治が終わり、明治政府により近代化が進められたことについての理解

④ そのために必要な指導・学習活動

- ・江戸の世の中と明治の世の中の違いに気付くことのできる資料を使って、その変化について考え、明治の新しい国づくりに興味を持つ。
- ・「時空をこえた手紙」を読み、その中に単元を通した学習課題を見付け、その手紙への返事を書くにはどんな学習をすればよいか学習計画を立てる。
- ・黒船の来航、明治維新、文明開化などについて調べ、理解する。
- ・単元を通した課題解決に向け「調べて分かったこと」から「考えて分かったこと」をまとめる。
- ・「時空を超えた手紙」を書くことにより、明治の国づくりが果たした役割について考えたことを表現する。

⑤ 今後の学習の活用

- ・「世界に歩み出した日本」において、生まれ変わった日本がどのように発展していったのかつながりを考えながら学習していく。

(2) 本単元に関わる児童の実態及び指導方針

① 既習の学習事項

- ・「天皇中心の国づくり」において、新しい国づくりに関わる人物がそれぞれに思いをもって諸改革を進めたことを学習している。
- ・「武士の世の中へ」において、律令制から封建制への政治の転換期について学習している。

- ・研究主題である歴史的事象の意味を考える力の育成に関しては、6月下旬に「武士による政治の始まり」の小単元において「時空を超えた手紙」を取り入れ、武士による政治つまり封建制度が確立したことにかかわる人物の働きや封建制度がその時代を生きた人々に与えた影響について考える学習を行っている。

② 本単元に関わる指導方針

○つかむ過程では

- ・歴史上の人物からもらった手のへ返事を書くという目的意識をもち、主体的に学習に取り組むことができるよう、「時空を超えた手紙」を軸に単元を構成する。
- ・主体的な学習にするために、児童に疑問を持たせたり、学習に対するイメージを持たせたりすることができるよう、効果的な資料を提示する。

○追究する過程では

- ・歴史的事象についての理解を深めたり、考えたことを表現したりできるように、「歴史キーワード」の活用を図る。
- ・学習課題を解決するために調べるという意識を明確に持たせ学習に取り組むことができるよう、調べる観点を与える。
- ・歴史的事象を大きくとらえさせるとともに、歴史的事象の意味に近づけることができるように、調べたことをもとに考えて分かったこと、考えて分かったことをもとにまとめて分かることというふうに段階的に事実を抽象化させる。

○まとめる過程では

- ・「時空を超えた手紙」を書くことにより、学習した知識を活用させるとともに、歴史的事象についての価値的判断を促したい。

3 単元の目標

- 黒船の来航、明治維新、富国強兵、文明開化などについて調べ、明治政府が廃藩置県や四民平等などの諸改革を行い、欧米の文化を取り入れつつ、日本の近代化を進めたことを理解する。
- 日本の近代化の意味について考えたことを表現することができる。

4 評価規準及び指導の計画概要

評価規準	関心・意欲・態度	・歴史的事象に関わる人物の働きや代表的な文化遺産に興味を持ち、新しい国づくりについて意欲的に調べようとしている。					
	思考・判断・表現	・新しい国の始まりの意味について、事実に基づいて考えたことを表現することができる。					
	資料活用・技能	・学習課題解決の根拠となる事実を、地図や年表、絵図などの資料を活用して調べ、ノートに記録している。					
	知識・理解	・明治政府が諸改革を行い、欧米の文化を取り入れつつ、日本の近代化を進めたことが分かっている。					
過程	時	主な学習活動	評価				
			◇評価項目(評価方法)	関	思	技	知
つかむ	1	○提示された資料から、江戸の世の中から明治の世の中への変化について調べながら、新しい国づくりについて興味を持つ。 ○吉田松陰からの「時空を超えた手紙」を読み、手紙の内容から単元を貫く学習課題を設定する。 ○学習課題について予想を立てる。	・学習に見通しを持ち、主体的に取り組もうとしている。(ノート・発言)	◎	○		

	2	<p>○明治維新で活躍した人たちについて調べ、理解する。</p> <p>○調べて分かることから、歴史キーワードを見付け、キーワードを用いて考えて分かることをまとめる。</p>	<p>・明治維新で活躍した人たちは下級武士に出身者が多く、特に薩摩と長州の出身が多かったことを「下級武士」や「日本を変える」などのキーワードを用いて記述している。(ノト)</p>			○		◎
追 究 す る	3	<p>○明治の世の中になり、どんなことが変わったのかを調べ、理解する。</p> <p>○調べて分かることから、歴史キーワードを見付け、キーワードを用いて考えて分かることをまとめる。</p>	<p>・西洋の文化や新しい学問を取り入れたこと、国民はすべて平等とされたことなどを「文明開化」「西洋の文化」「新しい学問」などのキーワードを複数用いて記述している。(ノト)</p>			○		◎
	4	<p>○教科書や資料とともに、明治維新が始められた様子について調べ、理解する。</p> <p>○調べて分かることから、歴史キーワードを見付け、キーワードを用いて考えて分かることをまとめる。</p>	<p>・ペリーの来航をきっかけに江戸幕府が終わり新しい時代が始まったことを「開国」「強い国づくり」「江戸幕府の終わり」などのキーワードを複数用いて記述している。(ノト)</p>			○		◎
	5	<p>○教科書や資料をもとに、政府はどのような国づくりをめざしていたのかを調べ、理解する。</p> <p>○調べて分かることから、歴史キーワードを見付け、キーワードを用いて考えて分かることをまとめる。</p>	<p>・廃藩置県や富国強兵政策のもと強い国づくりが進められたことを「工業」「軍隊」「強い国づくり」などのキーワードを複数用いて記述している。(ノト)</p>				○	◎
	6	<p>○教科書や資料をもとに、政府の改革に不満を持った人々がとった行動について調べ、理解する。</p> <p>○調べて分かることから、歴史キーワードを見付け、キーワードを用いて考えて分かることをまとめる。</p>	<p>・自由民権運動が広まり、国会開設が約束されたことを「言論」「自由民権運動」「国会の開設」などのキーワードを複数用いて記述している。(ノト)</p>			○		◎
	7	<p>○教科書や資料をもとに、伊藤博文がどのような思いを持って大日本帝国憲法をつくったのか調べ、理解する。</p> <p>○調べて分かることから、歴史キーワードを見付け、キーワードを用いて考えて分かることをまとめる。</p>	<p>・大日本帝国憲法はドイツに学んだ憲法であり、天皇制に基づいた憲法であることを「大日本帝国憲法」「伊藤博文」「天皇の権限」のキーワードを用いて記述している。(ノト)</p>				○	◎
ま と	8	<p>○これまでの学習でまとめた知識「考えて分かること」を活用して、学習課題について考えたことをまとめる。</p>	<p>・明治政府が廃藩置県や四民平等などの諸改革を行い、欧米の文化を取り入れつつ、日本の近代化を進めたことを各単位時間に</p>			◎		○

める		得た知識を関連付けて記述している。(ノト)				
	9	○「時空を超えた手紙」を書く。	・新しい国づくりの意味について、事実に基づいて考えたことを表現することができている。(手紙)	○	◎	

5 本時の展開 (1/9)

- (1) **ねらい** 資料から江戸の世の中から明治の世の中への変化を調べたり、吉田松陰からの手紙を読んだりすることにより、学習課題をつかみ、予想を立てることができる。
- (2) **準備** 江戸の町の様子絵、明治の町の様子絵、吉田松陰肖像画
- (3) **展開**

学習活動 ・予想する児童の意識	時間	支援及び指導上の留意点・評価 (◇は評価、◎は「努力を要する」状況の児童への支援)
1 提示された資料から江戸時代の暮らしについて振り返る。 2 明治の町の様子を比較して、気付いた違いや疑問を出し合う。 ・着ているものが洋服になっている ・ちょんまげでなくなった ・建物が洋風になった ・馬車が走っている 3 これらの変化を明治維新ということを知る。	15	○江戸の町の様子絵を提示し、江戸時代の人々の生活の様子を思い出させる。 ○明治の町の様子絵を提示し江戸の町と比較させる。 ◎比較する観点として、服装、建物、乗り物等具体的な観点を持たせる。
4 学習課題を設定する ○「時空をこえた手紙」を読む。 ○手紙の内容から単元を貫く学習課題を設定する。	20	○児童がイメージを持てるように、吉田松陰の肖像画を提示する ○時空をこえた手紙を書くことが学習のゴールであることを児童に伝え、学習の見通しを持たせる。
日本は開国をして、変わるべきだったのだろうか。		
5 予想を立ててノートに書く。 ・今の世の中を考えると変わって良かった。 ・いろいろ便利になるから良かった。 ・日本らしさがなくなるから変わらない方が良かった。		◎黒板に掲示されている資料やこれまで学習してきたことをもとに考えさせる。 ◎個人→ペア→グループ→個人というように活動の単位を変え、考えを交流させる。
6 予想したことをもとに学習内容を考え、発表する ・政治の仕方は変わったのか調べる。 ・人々の生活の変化を調べる。 ・変わって良かったことと悪かったこと	10	○考える観点を与える。 ・どのような学習をすれば学習課題を解決することができるか。 ・手紙の返事を書くための情報が得られるか。 ◎個人で考えたことをグループや全体に発表させる。

とを調べる ・変わった原因を調べる。 ・誰が変えたのか調べる。 ・武士はどうなったのか調べる。		◇学習に見通しを持ち、目的を持って取り組もうとしている。(ノト・発言)
7 本時の学習をまとめる		
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px auto; width: 80%;"> 黒船来航をきっかけに日本はどのように変わっていったのだろう </div>		
		○歴史上の人物からの問いかけに答えられるよう、歴史的事象の特徴を捉えることができる課題となるようにする。

5 本時の展開 (2 / 9)

- (1) **ねらい** 教科書や資料を使って調べたことをもとに、明治維新で活躍した人たちは薩摩や長州の下級武士の出身者が多く、日本の将来についてそれぞれ考えを持っていたことを理解し、表現することができる。
- (2) **準備** 明治維新で活躍した人物の肖像画
- (3) **展開**

学習活動 ・予想する児童の意識	時間	支援及び指導上の留意点・評価 (◇は評価、◎は「努力を要する」状況の児童への支援)
1 明治維新で活躍した人物の肖像画を提示する。 ・聞いたことがある名前だ。 ・武士もいるし、武士でない人もいる。	5	○教科書に登場する人物は必ず提示する。 ○一人一人名前を確認していく。 ◎資料集を見ながら確認させる。
2 本時の学習課題をつかむ。		
<div style="border: 1px solid black; padding: 10px; margin: 10px auto; width: 80%;"> 明治維新で活躍した人たちはどんな人だったのだろう。 </div>		
3 予想をする。 ・幕府の武士が活躍した。 ・武士ではない人が活躍した。 ・吉田松陰の弟子が活躍した。		
4 教科書や資料をもとに調べる。 ・福沢諭吉 ・板垣退助 ・大久保利通 ・伊藤博文 ・西郷隆盛 ・大隈重信 ・木戸孝允 ・坂本龍馬 ・勝海舟	25	◎ペアをつくり、教科書を使って調べる人と資料集を使って調べる人など役割を分担させる。 ◎黒板に掲示されている資料も参考にさせる。 ◎調べる観点を与える ・出身はどこか。 ・何をしたか。 ・どんな考えを持っていたか。
5 調べて分かることから歴史キーワードを見付けたり、新しいキーワードを考えたりする。 ・下級武士 ・薩摩藩 ・長州藩 ・日本を変える		○単元の学習課題につながる言葉を見付けさせる。 ◎複数のことに関連する言葉や中心人物は誰かなどの観点で見付けさせる。 ◎教科書や資料に繰り返させる言葉や今までの学習にはなかった言葉などを手がかりに見付けさせる。

<p style="text-align: center;">↓</p> <ul style="list-style-type: none"> ・薩摩や長州の下級武士 ・日本を変えることを考えていた。 	<ul style="list-style-type: none"> ○なぜそれがキーワードとなるか理由を考えさせる。 ○資料や教科書にない言葉でも調べて分かることをまとめて言い表せる言葉も考えさせる。 ◎教科書や資料に繰り返させる言葉や今までにはなかった言葉などを手がかりに見付けさせる。 ◎それぞれの基礎キーワードについて活用が図られるよう、その意味をおさえるとともに、考えて分かることを書く上での使い方を考える。
<p>6 調べて分かることをもとに考えて分かることをキーワードを活用してノートに記録する。</p> <p style="text-align: center;">完成文</p> <ul style="list-style-type: none"> ・明治維新で活躍した人たちには薩摩や長州の下級武士が多く、日本は変わるべきだと考えていた。 	<p>15</p> <ul style="list-style-type: none"> ○考えて分かることは本時の学習課題の答えになるように考えることを伝える。 ◇明治維新で活躍した人たちは下級武士に出身者が多く、特に薩摩と長州の出身が多く日本の将来についてそれぞれ考えを持っていたことを「下級武士」や「日本を変える」などのキーワードを複数用いて記述している。(ノト)

5 本時の展開 (3/9)

- (1) **ねらい** 教科書や資料を使って調べたことをもとに、西洋に文化や新しい学問を取り入れ、近代化していったことを理解し、表現することができる。
- (2) **準備** 一万円札、「学問のすすめ」、福沢諭吉の肖像画
- (3) **展開**

学習活動 ・予想する児童の意識	時間	支援及び指導上の留意点・評価 (◇は評価、◎は「努力を要する」状況の児童への支援)
<p>1 一万円札と「学問のすすめ」という本から福沢諭吉の考え方を知る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・それまでにはない考え方だ。 ・平等って新しい考え方なんだ。 	5	◎教科書の資料や資料集の中に福沢諭吉を見付けさせる。
<p>2 本時の学習課題をつかむ。</p>		
<p>明治の世の中になって、人々の生活にはどんな変化があったのだろう。</p>		
<p>3 予想をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・考え方が変わった。 ・建物が変わった。 ・生活のしかたが変わった。 <p>4 教科書や資料をもとに調べる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・西洋の制度や技術が導入された。 ・西洋のものがよいとされた。 ・文明開化といった。 ・新しい学問に学んだ。 ・身分制度が改められ、国民はすべて平等とされた。 	25	<ul style="list-style-type: none"> ○ノートの使い方について黒板で説明をする。 <ul style="list-style-type: none"> ・ノートは板書が同じになるように見開きで使うこと。 ※板書計画参照 ◎ペアをつくり、教科書を使って調べる人と資料集を使って調べる人など役割を分担して調べさせる。 ◎黒板に掲示されている資料も参考にさせる。 ◎調べる観点を与える <ul style="list-style-type: none"> ・新しく入ってきたものは何か。 ・それまでと変わったものは何か。
<p>5 調べて分かることから歴史キーワー</p>		○単元の学習課題につながる言葉を見付けさせる。

<p>ドを見付けたり、新しいキーワードを考えたりする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・西洋 ・文明開化 ・西洋の文化 ・新しい学問 <p style="text-align: center;">↓</p> <ul style="list-style-type: none"> ・西洋の文化を取り入れる。 ・西洋の文化や新しい学問によって ・文明開化という変化 	<ul style="list-style-type: none"> ◎複数のことに関連する言葉や中心人物は誰かなどの観点で見付けさせる。 ◎教科書や資料に繰り返させる言葉や今までの学習にはなかった言葉などを手がかりに見付けさせる。 ○なぜそれがキーワードとなるか理由を考えさせる。 ○資料や教科書にない言葉でも調べて分かることをまとめて言い表せる言葉も考えさせる。 ◎教科書や資料に繰り返させる言葉や今までにはなかった言葉などを手がかりに見付けさせる。 ◎それぞれの基礎キーワードについて活用が図られるよう、その意味をおさえるとともに、考えて分かることを書く上での使い方を考える。
<p>6 調べて分かることをもとに考えて分かることをキーワードを活用してノートに記録する。</p> <p><u>完成文の例</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・文明開化といって西洋の文化がたくさん導入された。また、福沢諭吉などにより新しい学問がはいる、日本を変えた。 <p>7 考えて分かったことを発表し、共有する。</p>	<p>15</p> <ul style="list-style-type: none"> ○考えて分かることは本時の学習課題の答えになるように考えることを伝える。 ◎大きくまとめられることを先に書き、具体的な例を挙げていくよう指導する。 ◎必要に応じて文型を与える。 <p>◇西洋の文化や新しい学問を取り入れながら近代化したこと、国民はすべて平等とされたことなどを「文明開化」「西洋の文化」「新しい学問」などのキーワードを複数用いて記述している。(ノート)</p>

5 本時の展開 (4 / 9)

- (1) **ねらい** 教科書や資料を使って調べたことをもとに、ペリーの来航をきっかけに江戸幕府が終わり新しい時代が始まったことを理解し、表現することができる。
- (2) **準備** ペリー来航の絵、長州軍の砲台を占領した連合艦隊の写真
- (3) **展開**

学習活動 ・予想する児童の意識	時間	支援及び指導上の留意点・評価 (◇は評価、◎は「努力を要する」状況の児童への支援)
<p>1 ペリー来航の絵と長州藩の砲台を占領した外国の軍隊の写真を見て感じたことを話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大きな軍艦。 ・外国は強そうだ。 ・何をしに来たのかな。 	5	<ul style="list-style-type: none"> ○外国の強さを感じられる資料を提示する。
<p>2 本時の学習課題をつかむ。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; margin: 10px auto; width: 80%;"> <p style="text-align: center;">ペリーの来航によって日本にどんな変化が起きたのだろう。</p> </div>		
<p>3 予想をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・外国の強さを感じさせた。 ・侵略しようとした。 <p>4 教科書や資料をもとに調べる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・条約を結んで国交を開いて、貿易が始 	25	<ul style="list-style-type: none"> ◎ペアをつくり、教科書を使って調べる人と資料集を使って調べる人など役割を分担して調べさせる。

<p>まった。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・貿易が始まって人々の生活が苦しくなった。 ・幕府への不満が高まった。 ・新しい政府をつくる運動が始まった。 ・政権が朝廷に返され、江戸幕府が終わった。 ・外国の強さを知った。 ・強い国づくりを目指した。 <p>5 調べて分かることから歴史キーワードを見付けたり、新しいキーワードを考えたりする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・開国 ・条約 ・政府 ・幕府への不満 ・強い国づくり ・新しい政府・江戸幕府の終わり <p style="text-align: center;">↓</p> <ul style="list-style-type: none"> ・幕府への不満が高まった。 ・条約を結んで開国した ・新しい政府をつくる運動 ・強い国づくりを目指す新しい政府 	<p>◎調べる観点</p> <ul style="list-style-type: none"> ・終わったことは何か。 ・始まったことは何か ・庶民におきた変化は。 ・下級武士におきた変化は。 ・人々が考えたこと。 <p>◎調べて分かったことを補い合えるように、全体で交流する。</p> <p>○単元の学習課題につながる言葉を見付けさせる。</p> <p>◎複数のことに関連する言葉や中心人物は誰かなどの観点で見付けさせる。</p> <p>◎教科書や資料に繰り返させる言葉や今までの学習にはなかった言葉などを手がかりに見付けさせる。</p> <p>○なぜそれがキーワードとなるか理由を考えさせる。</p> <p>○資料や教科書にない言葉でも調べて分かることをまとめて言い表せる言葉も考えさせる。</p> <p>◎教科書や資料に繰り返させる言葉や今までにはなかった言葉などを手がかりに見付けさせる。</p> <p>◎それぞれの基礎キーワードについて活用が図られるよう、その意味をおさえるとともに、考えて分かることを書く上での使い方を考える。</p>
<p>6 調べて分かることをもとに考えて分かることをノートに記録する。</p> <p><u>完成文の例</u></p> <p>・ペリーの来航をきっかけに、日本は開国した。開国は日本を変えた。強い国づくりを目指した新しい政府をつくる運動が始まり、江戸幕府は終わりを告げる。</p> <p>7 考えて分かったことを発表し、共有する。</p>	<p>15</p> <p>○考えて分かることは本時の学習課題の答えになるように考えることを確認する。</p> <p>○歴史キーワードの活用を促す。</p> <p>◎まず最初におきたこと、それに伴って起こっていったことを簡潔にまとめていくように指導する。</p> <p>◎必要に応じて文型を与える。</p> <p>◇ペリーの来航をきっかけに江戸幕府が終わり新しい時代が始まったことを「開国」「強い国づくり」「江戸幕府の終わり」などのキーワードを複数用いて記述している。(ノト)</p>

5 本時の展開 (5/9)

- (1) **ねらい** 廃藩置県や富国強兵政策のもと強い国づくりが進められたことを理解し、表現することができる。
- (2) **準備** 官営富岡製糸場の当時の様子を描いた絵、室町時代の手工業の様子を描いた絵、廃藩置県後の日本地図
- (3) **展開**

学習活動 ・予想する児童の意識	時間	支援及び指導上の留意点・評価 (◇は評価、◎は「努力を要する」状況の児童への支援)
1 室町時代の手工業の様子を示す資料と官営富岡製糸場の様子を示す資料から気づいたことをを出し合う。 ・たくさんの人が働いている。	5	○工業の近代化に気付くことができる資料を提示する。 ◎二つの資料を比べ、その違いに注目させる。

<ul style="list-style-type: none"> ・機械が使われている。 ・一度にたくさんのもので作れそう。 		
<p>2 本時の学習課題をつかむ。</p>		
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;"> 明治政府はどのような国づくりを目指したのだろうか。 </div>		
<p>3 予想をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・工業のさかんな国だろう ・外国と貿易ができる国だろう。 <p>4 教科書や資料をもとに調べる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大久保利通や木戸孝允が中心になって政策を進めた。 ・廃藩置県で国を一つにまとめた。 ・近代的な工業をさかんにするために殖産興業という政策を行った ・強い軍隊をつくるために徴兵令を出した。 ・国の収入を安定させるために地租改正を行った。 ・諸政策をまとめて富国強兵という。 <p>5 調べて分かることから歴史キーワードを見付けたり、新しいキーワードを考えたりする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・廃藩置県 ・富国強兵 ・殖産興業 ・地租改正 ・徴兵令 ・強い国づくり ・外国に負けない ・様々な政策 <li style="text-align: center;">↓ ・様々な政策を行った ・強い国づくりを目指し ・工業をさかんに ・強い軍隊をもつ 	<p>25</p>	<ul style="list-style-type: none"> ◎ペアをつくり、教科書を使って調べる人と資料集を使って調べる人など役割を分担して調べさせる。 ◎調べる観点を与える。 <ul style="list-style-type: none"> ・中心になって政策を進めた人は誰か。 ・それぞれの政策の目的は何か。 ◎調べて分かったことを補い合えるように、全体で交流する。 ○単元の学習課題につながる言葉を見付けさせる。 ◎複数のことに関連する言葉や中心人物は誰かなどの観点で見付けさせる。 ◎教科書や資料に繰り返させる言葉や今までの学習にはなかった言葉などを手がかりに見付けさせる。 ○なぜそれがキーワードとなるか理由を考えさせる。 ○資料や教科書にない言葉でも調べて分かることをまとめて言い表せる言葉も考えさせる。 ◎教科書や資料に繰り返させる言葉や今までにはなかった言葉などを手がかりに見付けさせる。 ◎それぞれの基礎キーワードについて活用が図られるよう、その意味をおさえるとともに、考えて分かることを書く上での使い方を考える。
<p>6 調べて分かることをもとに考えて分かることをノートに記録する。</p> <p><u>完成文</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・外国に負けない強い国づくりを目指した。そのために国を一つにまとめ、工業をさかんにし、強い軍隊を持つことに力を入れた。 <p>7 考えて分かることを発表する。</p>	<p>15</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○考えて分かることは本時の学習課題の答えになるように考えることを確認する。 ○歴史キーワードの活用を促す。 ◎まずどんな国かを端的に述べ、そのためにどんなことに力を入れたかを述べながらまとめていくよう指導する。 ◎必要に応じて文型を与える。 ◇廃藩置県や富国強兵政策のもと強い国づくりが進められたことを「工業」「軍隊」「強い国づくり」などのキーワードを複数用いて記述している。(ノート)

5 本時の展開 (6 / 9)

- (1) **ねらい** 教科書や資料を使って調べたことをもとに、政府の政策への不満から自由民権運動が広がり、国会開設が約束されたことを理解し、表現することができる。
- (2) **準備** 現在の国会の様子が分かる写真、西南戦争の様子を描いた絵、自由民権運動の様子を描いた絵
- (3) **展開**

学習活動 ・予想する児童の意識	時間	支援及び指導上の留意点・評価 (◇は評価、◎は「努力を要する」状況の児童への支援)
<p>1 現在の国会の様子が分かる写真を見て知っていることを出し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国のことを話し合う場所 ・法律を決めるところ <p>2 西南戦争の様子と自由民権運動の様子を「戦う」という観点で比べて、気付いたことを出し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・西南戦争は武器を持って戦っているが、自由民権運動は戦っていない。 	5	<p>○国会は学習していないので、子どもから概要が分かるほどの情報が出ない場合には、教師が説明を行う。</p> <p>○武力による戦いから言論での戦いによって変わったことを予想することに役立つ資料を提示する。</p>
2 本時の学習課題をつかむ。		
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;"> <p>国会はどのようにして開かれることになったのでしょうか。</p> </div>		
<p>3 予想をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・戦争をした。 ・話し合いをした。 <p>4 教科書や資料をもとに調べる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生活に困った武士や民衆が政府の政策に不満を持った。 ・氏族は武力を使った反乱を起こしたが、すべて政府の軍隊にしずめられた。 ・武力ではなく言論で主張する世の中へ変わっていった。 ・板垣退助たちは国会を開くことを主張した。 ・民衆は政治参加を求めた。 ・自由民権運動が広がった。 ・自由民権運動は政府に1890年に国会を開くことを約束させた。 <p>5 調べて分かることから歴史キーワードを見付けたり、新しいキーワードを考えたりする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・言論 ・武力 ・自由民権運動 ・国会の開設 ・政府に不満 <p style="text-align: center;">↓</p>	25	<p>◎ペアをつくり、教科書を使って調べる人と資料集を使って調べる人など役割を分担して調べさせる。</p> <p>◎調べる観点</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人々が国会を求めた理由は何か。 ・そのころの世の中には何かを勝ち取る方法にどのような変化が起きていたのか。 ・結果として、何が起きたか。 <p>◎調べて分かったことを補いあえるように、全体で交流する。</p> <p>○単元の学習課題につながる言葉を見付けさせる。</p> <p>◎複数のことに関連する言葉や中心人物は誰かなどの観点で見付けさせる。</p> <p>◎教科書や資料に繰り返させる言葉や今までの学習にはなかった言葉などを手がかりに見付けさせる。</p> <p>○なぜそれがキーワードとなるか理由を考えさせる。</p>

<ul style="list-style-type: none"> ・政府に不満をもつ人々 ・武力ではなく言論で戦う。 ・自由民権運動により言論で戦う。 ・自由民権運動が国会の開設を約束させた。 		<ul style="list-style-type: none"> ○資料や教科書にない言葉でも調べて分かることをまとめて言い表せる言葉も考えさせる。 ◎教科書や資料に繰り返させる言葉や今までにはなかった言葉などを手がかりに見付けさせる。 ◎それぞれの基礎キーワードについて活用が図られるよう、その意味をおさえるとともに、考えて分かることを書く上での使い方を考える。
<p>6 調べて分かることをもとに考えて分かることをノートに記録する。</p> <p><u>完成文</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・政府の政治に対する不満から人々は政治参加や国会開設を求め、武力ではなく言論で戦う自由民権運動により、国会を開設することを政府に約束させた。 <p>7 考えて分かったことを発表し、共有する。</p>	15	<ul style="list-style-type: none"> ○考えて分かることは本時の学習課題の答えになるように考えることを確認する。 ○歴史キーワードの活用を促す。 ◎何を求め、どんな方法でという順番でまとめていくよう指導する。 ◎必要に応じて文型を与える。 <p>◇自由民権運動が広まり、国会開設が約束されたことを「言論」「自由民権運動」「国会の開設」などのキーワードを複数用いて記述している。(ノート)</p>

5 本時の展開 (7/9)

- (1) **ねらい** 教科書や資料を使って調べたことをもとに、大日本帝国憲法はドイツに学んだ憲法であり、天皇制に基づいた憲法であることを表現することができる。
- (2) **準備** 大日本帝国憲法の概要、日本国憲法の三原則
- (3) **展開**

学習活動 ・予想する児童の意識	時間	支援及び指導上の留意点・評価 (◇は評価、◎は「努力を要する」状況の児童への支援)
<p>1 日本国憲法と比較し、大日本帝国憲法について気付いたことを出し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・天皇がたくさん出てくる。 ・天皇は神だと書いてある。 	5	<ul style="list-style-type: none"> ○天皇の力が強いことを予想させる資料を提示する。 ◎大日本帝国憲法の特徴という観点を持たせる。
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;"> <p>大日本帝国憲法と国会開設によって日本はどんな国に生まれ変わったのか。</p> </div>		
<p>3 予想を立てる</p> <ul style="list-style-type: none"> ・天皇中心の国だろう。 ・外国のような国ではないか。 <p>4 教科書や資料をもとに調べる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・伊藤博文が中心につくった。 ・皇帝の権力が強いドイツの憲法に学んだ。 ・天皇が国民に与えるという形で発布された。 ・天皇が主権を持つ憲法であった。 	25	<ul style="list-style-type: none"> ◎ペアをつくり、教科書を使って調べる人と資料集を使って調べる人など役割を分担して調べさせる。 ◎調べる観点 <ul style="list-style-type: none"> ・憲法を中心になって作った人物は。 ・憲法の特徴は。 ・国会について。

<ul style="list-style-type: none"> ・国会は貴族院と衆議院からなる。 ・選挙権をもつのは一定の税金を納める男子だけ。 ・1890年に第1回目の国会が開かれた。 <p>5 調べて分かることから歴史キーワードを見付けたり、新しいキーワードを考えたりする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大日本帝国憲法 ・伊藤博文 ・天皇の権限 <p style="text-align: center;">↓</p> <p>天皇の権限が強い 外国のように政治ができる</p>	<p>◎調べて分かったことを補い合えるように、全体で交流する。</p> <p>○単元の学習課題につながる言葉を見付けさせる。</p> <p>◎複数のことに関連する言葉や中心人物は誰かなどの観点で見付けさせる。</p> <p>◎教科書や資料に繰り返させる言葉や今までの学習にはなかった言葉などを手がかりに見付けさせる。</p> <p>○なぜそれがキーワードとなるか理由を考えさせる。</p> <p>○資料や教科書にない言葉でも調べて分かることをまとめて言い表せる言葉も考えさせる。</p> <p>◎教科書や資料に繰り返させる言葉や今までにはなかった言葉などを手がかりに見付けさせる。</p> <p>◎それぞれの基礎キーワードについて活用が図られるよう、その意味をおさえるとともに、考えて分かることを書く上での使い方を考える。</p>
<p>6 調べて分かることをもとに考えてわかることをノートに記録する。</p> <p><u>完成文</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・大日本帝国憲法は天皇の権限が強い憲法であった。つまり伊藤博文は天皇の力で治める国づくりを目指した。 <p>7 考えて分かったことを発表し、共有する。</p>	<p>15</p> <p>○考えて分かることは本時の学習課題の答えになるように考えることを確認する。</p> <p>○歴史キーワードの活用を促す。</p> <p>◎まず大日本帝国憲法がどんな憲法であったかを端的に述べ、続いて伊藤博文がどのような国づくりを目指していたかを述べるよう指導する。</p> <p>◎必要に応じて文型を与える。</p> <p>◇大日本帝国憲法はドイツに学んだ憲法であり、天皇制に基づいた憲法であることを「大日本帝国憲法」「伊藤博文」「天皇の権限」のキーワードを用いて記述している。(ノート)</p>

5 本時の展開 (8/9)

- (1) **ねらい** これまで学習したことをもとに、日本の近代化についてまとめることができる。
- (2) **準備** 第3時から第7時までの「考えて分かること」
- (3) **展開**

学習活動 ・予想する児童の意識	時間	支援及び指導上の留意点・評価 (◇は評価、◎は「努力を要する」状況の児童への支援)
<p>1 これまでの学習を振り返る。</p> <p>①文明開化といって西洋の文化がたくさん導入された。また、福沢諭吉などにより新しい学問が入り、日本を変えた。</p> <p>②ペリーの来航をきっかけに、日本は開国した。強い国づくりを進めるための新しい政府をつくる運動が始まり、江戸幕府は終わりを告げる。</p>	<p>10</p>	<p>◎これまでにつくった完成文を黒板に大きく提示する。</p> <p>◎自分のノートと照らし合わせながら確認させる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・①と④はどちらかという民衆寄りのこと。 ・②③⑤は政府が行ったこと。

<p>③外国に負けない強い国づくりを目指した。そのために国を一つにまとめ、工業をさかんにし、強い軍隊を持つことに力を入れた。</p> <p>④生活に困った人々は、武力ではなく言論による自由民権運動により、国会を開設することを政府に約束させた。</p> <p>⑤大日本帝国憲法は天皇の権限が強い憲法であった。つまり伊藤博文は、天皇の力で治める国づくりを目指した。</p>		
<p>2 学習課題についてまとめる。</p>		
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;"> 黒船来航をきっかけに日本はどのように変わっていったのだろうか。 </div>		
<p>・ペリーの来航をきっかけに、明治維新が起こった。</p> <p>政府は外国に負けない強い国づくりを目指し富国強兵政策を進め工業をさかんにし強い軍隊を持った。また、大日本帝国憲法をつくり天皇が治める国づくりをした。</p> <p>そして、人々の生活は西洋の文化や新しい学問によって変わった。自由民権運動により自分たちの力で国会開設を勝ち取った。</p>	<p>20</p>	<p>○これまで考えてきた完成文を活用させる。</p> <p>◎まとめるポイントを持たせる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・政府が目指した国づくりについて ・民衆の生活が変わったことについて <p>◎まとめるポイントに当てはまる部分について掲示したものに色分けをしながらラインを引いて気付かせる。</p> <p>◇明治政府が廃藩置県や四民平等などの諸改革を行い、欧米の文化を取り入れつつ、日本の近代化を進めたことを各単位時間に得た知識を関連付けて記述している。(ノト)</p>
<p>4 全体で発表し、意見の交流をする。</p> <p>・友達の意見を聞き、自分と違う意見、参考にしたい意見はメモをする。</p>	<p>10</p>	<p>○机間指導をしながら、各児童の手紙の内容を把握しておき、いくつかの異なった考えを意図的に指名できるように準備しておく。</p> <p>○発表が消極的であった場合は意図的に一つの考えを発表させ、「違う考えは？」という形で発表を促していく。</p>
<p>5 学習を振り返る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本時の振り返りをする。 ・友達の意見で参考にしたいと考えたことを発表する。 <p>・自分の学習の仕方を振り返る。</p>	<p>5</p>	<p>○自分の学習の仕方について振り返りをさせ、次の単元の学習につなげていく。</p>

5 本時の展開 (9 / 9)

- (1) **ねらい** これまで学習したことをもとに、日本が近代化したことの意味について考えたことを表現することができる。
- (2) **準備** 吉田松陰からの手紙
- (3) **展開**

学習活動 ・予想する児童の意識	時間	支援及び指導上の留意点・評価 (◇は評価、◎は「努力を要する」状況の児童への支援)
1 吉田松陰からの時空をこえた手紙を読み、課題をつかむ。		○拡大して提示した手紙の問いかけの部分にアンダーラインを引く。
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;"> 吉田松陰へ手紙の返事を書こう。 </div>		
2 手紙の書き方を確認する。	5	○手紙の書き方を説明する。 ・内容は前時に日本の近代化について考えたことをもとに書くこと。
3 手紙を書く。 ・近代化したことは日本にとって良かった。なぜなら、工業が盛んになり人々の生活が豊かになったから。 ・民衆に新しい考えが広がり、自分たちで国会開設を勝ち取ることができたので良かったと思う。 ・貿易によって民衆の暮らしは苦しくなったのは良くなかったと思う。でも、開国しなかったらアメリカの植民地になっていたかもしれない。	30	○ノートを見直させることで、自分が学習してきた知識を活用できるようにする。 ◎途中で、書けている児童に発表をさせ、支援とする。 ◇日本が近代化したこと意味について、事実に基づいて考えたことを表現することができている。 (手紙)
4 全体で発表し、意見の交流をする。 ・友達の意見を聞き、自分と違う意見、参考にしたい意見はメモをする。	10	○机間指導をしながら、各児童の手紙の内容を把握しておき、いくつかの異なった考えを意図的に指名できるように準備しておく。 ○発表が消極的であった場合は意図的に一つの考えを発表させ、「違う考えは？」という形で発表を促していく。